

## CO2排出量等の推移(日本鉄鋼連盟)

参考資料3

2020年目標: CO2排出量 BAU比 ▲500万t-CO2

2030年目標(案): CO2排出量 BAU比 ▲900万t-CO2

年度	1990年度	2005年度	2012年度	2020年度 目標	2030年度 目標(案)
生産量 粗鋼生産量[億t]※1	1.04	1.08	1.04	1.15	1.15
エネルギー消費量 熱量ベース[PJ]	2,439	2,262	2,227	-	-
CO2排出量(BAU) [万t-CO2]	-	-	-	19,675	19,675
CO2排出量(実績)※2 [万t-CO2]	20,061	18,703	18,577	19,175	18,775
BAUからのCO2削減量 [万t-CO2]	-	-	-	▲500	▲900
エネルギー原単位 (1990年度=1)	1	0.90	0.92	-	-
CO2排出原単位 (1990年度=1)	1	0.90	0.93	0.86	0.81

※1 自主行動計画又は低炭素社会実行計画参加企業の合計値。

※2 1990年度、2005年度、2012年度の値は、一般電気事業者からの購入電力量をCO<sub>2</sub>排出量に換算するにあたって、発電端電力排出係数を用いたものであり、2020年度、2030年度の値は、受電端電力排出係数を用いたもの。

## CO2排出量等の推移(日本化学工業協会)

2020年目標: CO2排出量 BAU比 ▲150万t-CO2

2030年目標(案): 検討中

年度	1990年度	2005年度	2012年度	2020年度 目標	2030年度 目標(案)
生産量 生産指標[-]	100	125	111	-	-
エネルギー消費量 原油換算ベース[万kI]	2,674	2,880	2,485	2,833	-
CO2排出量(BAU) [万t-CO2]	-	-	-	6,728	-
CO2排出量(実績) [万t-CO2]	6,172	6,675	5,761	6,578	-
BAUからのCO2削減量 [万t-CO2]	-	-	-	▲150	検討中
エネルギー原単位 (1990年度=1)	1	0.86	0.84	-	-
CO2排出原単位 (1990年度=1)	1	0.87	0.84	-	-

## CO2排出量等の推移(日本製紙連合会)

2020年目標: CO2排出量 BAU※1比 ▲139万t-CO2 ※1 2005年度の原単位を基準として想定

2030年目標(案): CO2排出量 BAU※2比 ▲75万t-CO2 ※2 2008～2012年度5カ年平均の原単位を基準として想定

年度	1990年度	2005年度	2012年度	2008～2012 年度平均	2020年度 目標	2030年度 目標(案)
生産量 生産量[万t/年]	2,515	2,744	2,261	2,386	2,473	2,390
エネルギー消費量 熱量ベース[TJ]	367	339	240	262	286	-
CO2排出量(BAU) [万t-CO2]	-	-	-	-	2,243	-
CO2排出量(実績) [万t-CO2]	2,493	2,418	1,716	1,859	2,104	-
BAUからのCO2削減量 [万t-CO2]	-	-	-	-	▲139	▲75
エネルギー原単位 1990年度=1	1	0.85	0.72	0.75	0.80	-
CO2排出原単位 1990年度=1	1	0.89	0.78	0.78	0.83	-

## CO2排出量等の推移(セメント協会)

2020年目標: エネルギー原単位 2010年度比 ▲1.1%

2030年目標(案): エネルギー原単位 2010年度比 ▲1.4%以下

年度	1990年度	2005年度	2010年度 (基準年度)	2012年度	2020年度 目標	2030年度 目標(暫定案)
生産量 生産量[万t]	9,310	7,393	5,590	5,931	5,621	-
エネルギー消費量 原油換算ベース[万kI]	-	-	494.7	518.3	491.8	-
CO2排出量(実績) [万t-CO2]	2741	2177	1642	1740	-	-
エネルギー原単位 (2010年度=1)	-	-	[1]	-	▲39MJ/t-cem [0.989]	▲49MJ/t-cem以下 [0.986以下]
CO2排出原単位 (1990年度=1)	1	1	0.998	0.996	-	-

※ [ ]は2030年度目標の基準年度を1とした場合の比率

## CO<sub>2</sub>排出量等の推移(電機・電子温暖化対策連絡会)

2020年目標: エネルギー原単位改善率 年平均1% (2012年度比 ▲7.73%)  
 2030年目標(案): エネルギー原単位改善率 年平均1% (2012年度比 ▲16.55%)

年度	1990年度	2005年度	2012年度 (基準年度)	2020年度 目標	2030年度 目標(案)
生産量 名目生産高[10億円]	34,332	40,080	27,777	-	-
エネルギー消費量 原油換算ベース[万kI]	638	1,010.1	862.5	1,530~1,550※1	-
CO <sub>2</sub> 排出量(実績) [万t-CO <sub>2</sub> ]	1,112	1,804.6	1,680	2,510~2,700※1	-
エネルギー原単位 (1990年度=1)	1	0.67	0.60 [1] ※2	0.55※3 [0.9227]	0.50※3 [0.8345]
CO <sub>2</sub> 排出原単位 (1990年度=1)	1	0.69	0.66	-	-

※1 成長ケース(GDP伸長率1.8%/年率)の見通し

※2 [ ]は2030年度目標の基準年度を1とした場合の比率

※3 “2020/2030年度目標”の原単位は、自主行動計画の原単位に、改善率を仮に当てはめた場合の値

## CO2排出量等の推移(日本自動車工業会・日本自動車車体工業会)

2020年目標: CO2排出量 1990年度比 ▲28%

2030年目標(案): CO2排出量 1990年度比 ▲33%

年度	1990年度 (基準年度)	2005年度	2012年度	2020年度 目標	2030年度 目標(案)
生産量 生産台数[万台]	1359	-	955	1170	1170
エネルギー消費量 原油換算ベース[千kI]	-	-	-	-	-
CO2排出量(実績) [万t-CO2]	990 [1]	794 [0.80]	-	709 [0.72]	662 [0.67]
エネルギー原単位 (1990年度=1)	-	-	-	-	-
CO2排出原単位 (1990年度=1)	1	-	-	0.85	0.79

※ [ ]は2030年度目標の基準年度を1とした場合の比率